



# Workspace ONE PoC ガイド Chapter 3 Office 365 連携編

V 1.1



## ヴイエムウェア株式会社





# Table of Contents

1 Of	fice 365とVMware Workspace ONEの連携	6
1.1	本章のゴール	6
1.2	前提条件	6
1.3	Office 365 テナントの準備	7
1.4	Office 365 管理用 PowerShell クライアントの準備	13
1.5	Office 365 テナントの準備	16
1.6	Active Drectory の事前準備(非ルーティングドメインへの対応)	17
1.6	5.1 非ルーティングドメインとは	17
1.6	5.2 Active Directory 上の UPN による対策	18
1.7	Azure AD Connect によるアカウントプロビジョニング	20
1.8	VMware Identity Manager と Office 365 を統合	25
2 認調	証ポリシーの構成と試験	. 31
<b>2 認</b> 認 2.1	<b>証ポリシーの構成と試験</b> 認証ポリシーの構成	. <b>31</b>
<b>2 認</b> 2.1 2.2	<b>証ポリシーの構成と試験</b> 認証ポリシーの構成 PC 上のブラウザからのログイン	31 31 33
2 認調 2.1 2.2 2.3	<b>証ポリシーの構成と試験</b> 認証ポリシーの構成 PC 上のブラウザからのログイン iOS デバイスからのモバイル SSO ログイン	31 31 33 36
2 認 2.1 2.2 2.3 2.4	<b>証ポリシーの構成と試験</b> 認証ポリシーの構成 PC 上のブラウザからのログイン iOS デバイスからのモバイル SSO ログイン アクティブ認証フローの制御	31 31 33 36 39
2 認 2.1 2.2 2.3 2.4 2.4	<b>証ポリシーの構成と試験</b> 認証ポリシーの構成 PC 上のブラウザからのログイン iOS デバイスからのモバイル SSO ログイン アクティブ認証フローの制御 ¥.1 VMware Boxer アプリケーションのみを許可	31 31 33 36 39 39
2 認 2.1 2.2 2.3 2.4 2.4 2.4	<b>証ポリシーの構成と試験</b> 認証ポリシーの構成 PC上のブラウザからのログイン iOSデバイスからのモバイル SSO ログイン アクティブ認証フローの制御 4.1 VMware Boxer アプリケーションのみを許可 4.2 すべてのアプリケーションを許可	31 33 36 39 39 39
2 認語 2.1 2.2 2.3 2.4 2.4 2.4 3 [ A	<ul> <li>証ポリシーの構成と試験</li> <li>PC 上のブラウザからのログイン</li> <li>iOS デバイスからのモバイル SSO ログイン</li> <li>アクティブ認証フローの制御</li></ul>	31 31 33 36 39 39 42 43
2 認 2.1 2.2 2.3 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4	<ul> <li>証ポリシーの構成と試験</li> <li>PC上のブラウザからのログイン</li> <li>iOSデバイスからのモバイル SSO ログイン</li> <li>アクティブ認証フローの制御</li> <li>4.1 VMware Boxer アプリケーションのみを許可</li> <li>4.2 すべてのアプリケーションを許可</li> <li>APPENDIX ] VMware Identity Manager によるアカウントプロビジョニング</li> <li>APPENDIX ] 参考情報</li> </ul>	31 31 33 36 39 39 42 42 43 48
2 認語 2.1 2.2 2.3 2.4 2.4 2.4 3 [ A 4 [ A 4.1	<ul> <li>証ポリシーの構成と試験</li> <li>PC 上のブラウザからのログイン</li> <li>iOS デバイスからのモバイル SSO ログイン</li> <li>アクティブ認証フローの制御</li></ul>	31 31 33 36 39 39 42 42 43 48
2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 4.1 4.1 4.2	<ul> <li>証ポリシーの構成と試験</li> <li>PC 上のブラウザからのログイン</li></ul>	31 31 33 36 39 39 42 42 43 48 48 48



## 更新履歴

バージョン	更新日	更新者	内容
1.0	2017.08.29	Tomonori Takaki	新規作成
1.1	2018.04.27	Chihiro Katagiri	Workspace ONE v9.3 対応



## はじめに

本書は VMware が提供する正式な製品マニュアルではなく、フリートライアルや PoC に使用いただくた めの参考資料です。また、VMware Identity Managerの操作や設定方法を中心に記載しており、AirWatch 自体の基本的な操作や設定方法は簡略化している部分がありますので「AirWatch フリートライアルガ イド」シリーズも併せてご確認ください。

内容は適宜変更や更新される可能性があり、かつ記載内容およびその動作を保証するものではございま せん。



## 1 Office 365 と VMware Workspace ONE の連携

#### 1.1 本章のゴール

VMware Workspace ONE (VMware Identity Manager および AirWatch)と Office 365 を WS-Federation 連携します。また、「Workspace ONE PoC ガイド Chapter1」で構成した Secure Application Token System(SATS)を使用したモバイル SSO を使用することにより、AirWatch に管理された iOS か ら容易にシングルサインオンできるようになります。

本章ではブラウザ、Microsoft Office アプリケーション、Workspace ONE アプリケーションからのシ ングルサインオンおよび ActiveSync クライアントからのシングルサインオンを構成します。



#### 1.2 前提条件

- 「Workspace ONE PoC ガイド Chapter1」で構成している環境(AirWatch と VMware Identity Manager が連携した環境)を使用。 参考:https://www.slideshare.net/HamamatsuMobile/workspace-one-poc-guide-chapter-1-v22
- 検証に使用可能な Office 365 テナントに管理者としてアクセスできる。
   本書で使用している環境は「Office 365 E3 Developer MSDN」となります。
   参考: https://developer.salesforce.com/signup
- 検証に使用可能なインターネットドメインを取得し、その DNS に管理者としてアクセスできる。
   本書で使用している環境は「お名前.com by GMO」を使用しています。
   参考: https://www.onamae.com/



## 1.3 Office 365 テナントの準備

この手順では Office 365 を新規にセットアップします。Office 365 E3 Developer MSDN を使用した 手順となっており、通常の Office 365 E3 とは異なる場合があります。

1.	契約者情報を入力し、[次へ]を選択します。
Office 365 Enterprise E3 Developer MSDN	? <del>9</del> 7272
ようこそ、必要事 <mark>項をご記入く</mark> ださい	
国または地域 サインアップ後には変更できません。その理由:	
推 (明:田中) を (明: 太助) 勉励先の電子メール アドレス	
動態先の電話番号	
<u>승산</u> 名	
xxxx0.000xx 次へ ⊙	- 6
Office 365 Enterprise E3 Developer MSDN	2 <b>9</b> 72772
ようこそ、必要事 <mark>項をご記入く</mark> ださい	
日本 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	- ///
2.00	
次へ ⊙	
2.	管理者用のアカウントを作成します。
Office 365 Enterprise E3 Developer 既存のサブスクリプションに追加しますか	? 94242
ユーザー ID の作成	管理者用アカウントは以下の形式となります。
アカウントにサインインするにはユーザー ID とパスワードが 必要です。	<任意の文字列> @ <任意の文字列> .onmicrosoft.com
() annicrosoft.com	
Be annicrosoft.com	
	ta ang ili
(アカウントの寺城 をクリックすると、使用条件および環定のユミュンデーション型定に開催さるととはなります。あた、マイクロソフトから製品およびサービスの2月用状況についてお何いすることがあります。あらかじめご了承ください。	
Microsoft Online Sarvice つれた、製品はよびケービスを要求規定に活用しただくた めた、資料に使用の活性をというをおしたはます。いつうな構成を解除すできま す。コミュニケーションのガイジションの課題については、プライパジーに関する 声明を審測してください。	an ann 11th
Microsoft Online Services から、製品、サービス、およびイベントに関する実内が 届く場合があります。 電子メール	
□ 電話 ○ Microsoft のバートナーから製品、サービスおよびイベントに関する情報を受 対応をことと可慮します	
アカウントの作成 ④	



3.		契約内容を確認し[次へ]を選択します。
Office 365 Enterprise E3 Developer MSDN い。 Office 3 1か月初 W0 11 年期 NO 70 54 NO 70 NO 7	Fの内容をご確認くださ 365 Enterprise E3 Developer MSDN 35 56 t 0 ショードまとはHB13- ドをお得たすま? ARL 17 57	
4.		支払い方法を選択し、[注文]を選択します。
Office 365 Enterprise E3 Developer MSDN ARM 07 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	tytytytytytytytytytytytytytytytytytyty	
5.		[セットアップの開始]を選択します。
Office 365 Enterprise E3 Developer MSDN       ご注: うごご         手原目 ○本AEC>NT       ************************************	E文いただき、ありがと ざいます <sup>90/to-20 GYL+T: AF8@0+/ン+/&gt;地®BL, R 00/to-20 GYL+T: AF8@0+/ン+/&gt;地®BL, R 00/to-20 GYL+T: AF8@0+/ン+/&gt;地®BL, R 0/forcon mmroart.com x-/&gt;b7/0開始 ④</sup>	
6.		[既に所有しているドメインを接続します。]を選択し、今回
## Office 365 Admin center Office 365 Enterprise ED Developer の セットアップ	▲ 3 ? 手順2 手順3 手順4 2-ダーの追加 アプリを入手する ドメインを接続する	使用するインターネットドメインを入力します。
サインインとメー 潮見したドメインは、メールアドレスの一部となり、 @ E50 利用されます。	ルのカスタマイズ 90後るに変遷されます。ドメインは、あなたやスタッフがサインインするために使用し、顧客があなたにメー	例: ACME.com
	ようになります ng in.	[次へ]を選択します。
次へ ③ 第7して後で続ける		







12. 表示された DNS エントリーを全て DNS に追加します。 Office 365 Admin center **↓** ∅ ? 手順 1 サインインをカスタマイズす 手順 2 手順 3 手順4 Office 365 loper ወ を力; [確認]を選択します。 0 0 • DNS レコードの追加 DNSの設定変更の反映・伝播には時間がかかるため、追加さ エクスポート \_\_ ∨ れた DNS エントリーを Office 365 から確認できるようにな へ MX レコード るまで何度かリトライする必要がある場合があります。 DNS ホスティング プロバイダーでこれらのレコードを追加してください。 ステップバイステップの手厚 いながれメティン ブルパサービュにおかレーーを実施的していたが、ステンパイステンジャー ● 置いめ、ポインとのドメインの かいしードが取らる金色。下記のは「W」と一を変更すると、新たな受性メールは新しいメール アドレスにリゲイレク は前のメーカ サービスにメールは整備されなくなります。 W に コードを変更いために、新しいメール アプロンド で以前のメールにアクセスしたい場合は、以前のメール メッセージを巻行する必要があります。 (本書作成時には10分程度) む このアーブルをコピーする 優先度 ホスト名 ポイント先のアドレスまたは値 ۵. ۱۹ mail.protection.outlook.com 00 3600 へ CNAME レコード DNS ホスティング プロバイダーでこれらのレコードを追加してください。 ステップパイステップの手順 © このテーブルをコピーする sip
 invoidscover
 invoidscover
 invoidscover
 invoid ホスト名 ポイント先のアドレスまたは言 autodiscover.outlook.com
 sipdir.online.lync.com
 webdir.online.lync.com
 clentconfig.microsoftonline-p.net
 clentconfig.microsoftonline-p.net 3600 3600 3600 3600 3600 enterpriseregistration.windows.u
 enterpriseenrollment.manage.m enterprise ∧тхт ⊳⊐−К DNS ホスティング プロパイダーでこれらのレコードを追加してください。 ステップパイステップの手順 む このテーブルをコピーする 0 b v=spf1 include:spf.protection.outlook.com -all 3600 へ SRV レコード ー・・ S ホスティング プロパイダーでこれらのレコードを追加してください。 ステップパイステップの手順 む このテーブルをコピーする サービス 
 D\_tts
 D\_443
 D\_1
 D\_100
 D\_3600
 D\_0

 D\_tcp
 D\_5061
 D\_1
 D\_100
 D\_3600
 D\_0
 \_sip b sipdir.online.lync.com 戻る 確認 ② 終了して後で続ける お名前.COM での DNS 設定例 ● 追加 A/AAAA/CNAME/MX/NS/TXTレコード ※オリジンのNSレコードは変更できません。 ※オリジンのNSレコード機能で設定されたA/AAAAレコードは変更できません。 優先 削除 ホスト名 TYPE TTL 状態 VALUE .mail.protectic 0 ipwso2.net MX 3600 有効 ᅌ autodiscover.jpwso2.net 3600 CNAME autodiscover.outlook.com 有効 ᅌ sip.jpwso2.net CNAME 3600 sipdir.online.lync.com 有効 ᅌ 3600 webdir.online.lync.com 有効 ᅌ lyncdiscover.jpwso2.net CNAME msoid.jpwso2.net CNAME 3600 clientconfig.microsoftonli 有効 ᅌ enterpriseregistration.jpwso2.net CNAME 3600 enterpriseregistration.wir 有効 ᅌ enterpriseenrollment.mai enterpriseenrollment.jpwso2.net CNAME 3600 有効 ᅌ @.jpwso2.net TXT 3600 v=spf1 include:spf.protec 有効 ᅌ SRVLD-K サービス名 プロトコル ホスト名 түре TTL 削除 \_tis 3600 \_sip SRV .jpwso2.net PRIORITY WEIGHT PORT TARGET 状態 100 1 443 sipdir.online.lync.com 有効 ᅌ サービス名 プロトコル ホスト名 ТҮРЕ TTL 削除 \_sipfede \_tcp SRV 3600 ipwso2.net PRIORITY WEIGHT PORT TARGET 状態 100 1 5061 sipfed.online.lync.com 有効 ᅌ





#### 1.4 Office 365 管理用 PowerShell クライアントの準備

Office 365 を管理する際には PowerShell を使って操作する必要のある項目がいくつかあります。この 章では管理者が使用するためのクライアント環境をセットアップします。

参考:https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/dn975125.aspx

1	任音の Windows マシーンで「Microsoft Online Services Sign-In
Microsoft Online Services Sign-In Assistant for IT Professionals RTW	Assistant for IT Professionals RTW」の 64bit 版をダウンロードし
	ます。
	https://www.microsoft.com/en-US/download/details.aspx?id=28177
Select Language: English • Download	
The Microsoft Online Services Sign-In Assistant provides end user sign-in capabilities to Microsoft Online Services, such as Office 365.	
Details	ダウンロードしたインストーラーを実行します。
System Requirements	
Install Instructions	
⊗ Choose the download you want	
File Name Size	
en/msoidcli_32.msi 4.1 M8 1. en/msoidcli_64.msi	
enymsoiddl_64.msi 5.9 MB	
Total Size: 5.9 MB	
2.	[ Next ]を選択します。
Microsoft Online Services Sign-in Assistant Setup   Welcome to the Microsoft Online Services Sign-in Assistant Setup Wizard  Welcome to the Microsoft Online Services Sign-in Assistant Setup Wizard  The Setup Wi	
3.	[ I accept the terms in the License Agreement and Privacy
Microsoft Online Services Sign-In Assistant Setup	Statement ]にチェックを入れ、 [ Install ]を選択します。
Print Book 🖗 Instal Cancel	











#### 1.5 Office 365 テナントの準備

Office 365のデフォルトドメインの認証をフェデレートすることはできません。ここでは認証をフェデレートする対象のドメインのデフォルトドメイン設定を解除します。

1.	Microsoft Azure Directory Module for Windows PowerShell &
PS C:>> Get-MaolDonain ! select *	
PS C:\> Get-HsolDomain i select * ExtensionData : System.Runtime.Serialization.ExtensionDataObject Auchentication : Managed OfficeCommunicationsOnline, OrgldAuthentication. IsDefault : True Fane : jpuso2.net Fane : jpuso2.net Status : Uerified VerificationMethod : DusRecord	Get-MsolDomain   select *
ExtensionData System, muntime.serialization.ExtensionDataObject Muchenitication Hanaged Usbefaultee False False Isinitial True Nameonnicrosoft.con	実行結果を確認します。
Status : Verified VerificationMethod : DnsRecord	認証をフェデレートする対象のドメインの「IsDefault」行が「True」
PS C:\> _	の場合はデフォルトドメインになっているため設定変更が必要で
	す。
	「IsDefault」行が「False」の場合には設定変更は不要ですので、こ
	のまま次の章へ進んでください。
2.	以下のコマンドを実行し、ドフォルトドメインを管理用アカウント
BS C1\> PS C1\> PS C1\> Set-MsolDomain -Name "onmicrosoft.con" -IsDefault PS C1\> PS C1\>	のドメインに変更ます。
	Set-MsolDomain – Name "XXXXX.onmicrosoft.com" – IsDefault * 上記「XXXXX」の部分は Office 365 テナント取得時に設定した 管理用アカウントサブドメインを入力します。 エラーや警告等が無いことを確認します。
3.	認証をフェデレートする対象のドメインの「IsDefault」行が「False」
<pre>PS C:&gt; Get HsolDomain ! select * ExtensionData : System.Buntime.Serialization.ExtensionDataObject Authentication : Hanaged Capabilities : Finile NontOwnain : jpus02.net NontOwnain : jpus02.net NontOwnain : Uerified VerificationMethod : DnsRccord ExtensionData : System.Runtime.Serialization.ExtensionDataObject Authentication Capabilities : Enail, OfficeCommunicationsOnline Islatities : Image NontOwnain : Uerified VerificationMethod : Uerified VerificationMethod : DnsRccord</pre>	になっていることを確認します。



## 1.6 Active Drectory の事前準備(非ルーティングドメインへの対応)

## 1.6.1 非ルーティングドメインとは

Office 365 を使用する際にはインターネットドメインが必要となりますが、多くの企業の Active Directory ドメインはインターネットドメインとは異なる独自の形式になっています。

例えば、Office 365 では ACME.com を使用しているのに対し、Active Directory ドメインは ACME.local の場合が該当します。



この場合、User Principle Name (UPN)が異なるため、そのままでは Office 365 を使用することができません。この UPN のミスマッチへの対策として以下のような方法が考えられます。

Office 365 利用時の UPN ミスマッチへの対策例

1. Active Directory 上の UPN を修正する。

- 2. Azure AD Connect でのアカウント同期時に UPN 属性を変換する。 https://blogs.msdn.microsoft.com/vilath/2016/03/02/changing-the-userprincipalsuffix-with-azure-ad-connect/
- 3. VMware Identity Manager のアカウントプロビジョニング機能で UPN 属性を変換する。 https://www.vmware.com/pdf/vidm-office365-saml.pdf 「Use Provisioning to Update the UPN Attributes in VMware Identity Manager」

本章では Active Directory 上の UPN を修正する方法で構成します。

https://support.office.com/jajp/article/%E3%83%87%E3%82%A3%E3%83%AC%E3%82%AF%E3%83%88%E3%83%AA%E5%90%8C%E6% 9C%9F%E7%94%A8%E3%81%ABlocal-%E3%83%89%E3%83%A1%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%81%AA%E3%81%A9%E3%81%AE-%E9%9D %9E%E3%83%AB%E3%83%BC%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%B3%E3%82%B0-%E3%83%89%E3%83% A1%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%82%92%E6%BA%96%E5%82%99%E3%81%99%E3%82%8B%E6%96%B9 %E6%B3%95-e7968303-c234-46c4-b8b0-b5c93c6d57a7



#### 1.6.2 Active Directory 上の UPN による対策

この手順は Active Directory 上の設定変更によって非ルーティングドメインの対策をする手順です。各 ユーザの UPN の形式をインターネットドメインを使用した形式に変更することで Office 365 と統合す ることが可能となります。

#### 参考:

ユーザー プリンシパル名サフィックスを追加する https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc772007.aspx

1.			「 ツール ] - 「 Active Directory ドメインと信頼関係 ] を
- 5	Active Directory Domains and	Trusts	目さます。
File Action View Help			
( <b>+ +</b> ) 📰 🗐 🔂	7 🗊		
Active Directory Domains	and Trust Name		
wso.lan	Change Forest		「Active Directory ドメインと信頼関係 ]-「 プロパティ ]
	Change Active Directory Domain Controller		
	Operations Master		を開きます。
	Raise Forest Functional Level		
	View +		
	Refresh		
	Export List		
	Properties		
	Help		
2			
2.			[代わりの UPN サフィックス] ボックスに UPN サフィ
Active Direct	tory Domains and Trusts [ 2 X		ックスとして Office 365 で使用するインターネットドメイ
UPN Suffixes			
The names of principal nam	the current domain and the root domain are the default user e (UPN) suffixes. Adding alternative domain names provides		ンを入力し、[追加]、[週用]の順に進めます。
If you want al	on security and simplimes user logon names. temative UPN suffixes to appear during user creation, add llowing list		
Alternative U	PN suffixes:		
	Add		
jpwso.net	Remove		
	OK Cancel Apply Help		









#### 1.7 Azure AD Connect によるアカウントプロビジョニング

Office 365 をフェデレーション環境で使用する際には SAML 識別子に ImmutableID 属性の値を使用します。これは Active Directory 上の ObjectGUID をベースにしており、一般的には Azure AD Connect を使用してアカウントをプロビジョニング・同期する必要があります。 ここでは Azure AD Connect を使用してアカウントをプロビジョニングします。

1.	任意の Active Directory メンバーサーバーで「Azure AD
	Connect」をダウンロードします。
Commodul mitrosoft Acc ×	https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=47594
Microsoft Azure Active Directory Connect	
Language: English Download	ダウンロードしたインストーラーを実行します。
Azure AD Connect allows you to quickly onboard to Azure AD and Office 365	
System Requirements	
Install Instructions	
2.	[ I agree to the License terms and Privacy notice ][ $\mathcal{F}$
Microsoft Azure Active Directory Connect _ X	ェックを入れ、 [ Continue ]を選択します。
Welcome to Azure AD Connect	
Run this installation tool on the server where the synchronization service component will be installed.	
This installation tool will • Guide you in sectoring a solution for easing paragraph provide the sectoring of the other • Guide you in sectoring a solution for easing paragraph paragraph paragraph paragraph and the sectoring and the • Installation conference of the other Montention for the sectoring of the other management of the determinant • Installation conference of the other Montention for the sectoring of the other management of the other managemen	
Verify the integration of your on premises and online directories     Learn more	
I agree to the license terms and privacy notice.	
Continue	
3.	[ Use express settings ]を選択します。
Microsoft Asure Active Directory Connect – ¥	
Webcome Express Settings Bypens Settings If you have a single Webcome Server Active Directory forest, we will do the following:	
Configure producing and producing and produce in the current AD forest of MSO     Configure parameter of producing and producing and producing and produce and producing and produc	
Synchronize all introducts     Endle Ado Upgrade Learn more about spranse settings	
If you would like different settings, click Custombe.	
exa lan is not a routable domain. It is recommended to use custom settings to configure user sign in options. Learn more about non-routable domains and user sion in settings.	
Customize Use express settings	





4.		Office 365 の管理者アカウントのユーザー名とパスワード
	Internet Active Directory Connect _ >	を入力し、[ Next ]を選択します。
	Webcome Express Settings	
	Connect to ADUE Enter your ADUE AD Indentitative U Connect to AD D5 USERNAME Configure USERNAME Configure	
	PASSWORD	
	Previous Next	
5.		Active Directory の管理者のユーザー名とパスワードを入力
	Interest Active Directory Connect - ×	し、[ Next ]を選択します。
	Vincome Connect to AD DS	
	Connect to ADJo Enter the Active Directory Domain Services enterprise administrator credentata: Connect to ADJO USERVAME USERVAME USERVAME	
	0.000/24.0	
	Previous Next	
	Properties ? ×	
	Remote control         Remote Desktop Services Profile         COM+           General         Address         Account         Profile         Telephones         Organization	* 当該 Active Directory 管理者アカウントは「Enterprise
	Member Of Dial-In Environment Sessions Member of:	Admins」クルーフのメンバーである必要かあります。
	Name         Active Directory Domain Services Folder           Domain Admins         wso Jan/Users	
	Domain Users wso.Jan/Users Enterprise Admins wso.Jan/Users	
6.		Office 365 のドメインと一致する Active Directory の UPN
	A Microsoft Acure Active Directory Connect - *	サフィックスの行に「Verified」と表示されていることを確認
	Wetcome         Azure AD sign-in configuration           Express Strings         To use on premise contentials for Azure AD jogn-n, UPX utilies Should and the or the welfield outsom domains in Azure AD to Biology and Data Data Data Data Data Data Data Dat	し、[ Next ]を選択します。
	Connect to AD DS along with the multiling cutom domain in Azure  Active 20 instance with the multiling cutom domain in Azure  Active 20 instance with the multiling active domain in Azure  AD domain Configure wischen Nick Added	
	jourint Verified	
	Previous Next	





13.			「Product Licenses」行にライセンスが表示されたことを確
Jane Doe Jane.Doe@jpwso.net	:		認し、[ Close ]を選択します。
Change 🔍 Reset password	Delete user		
User name	Jane.Doe@jpwso.net	Edit	
Product licenses	Office 365 Enterprise E3 Developer	Edit	
Group memberships (1)	AWUSERS	Edit	
Sign-in status	Sign-in allowed	Edit	
Office installs	View and manage which devices this person has Office apps installed on.	Edit	
Roles	User (no admin access)	Edit	
Display name	Jane Doe	Edit	
Cose	Edit Skype for Business properties Manage multi-factor authentication ⊏f		
	III 🔺 🌣 ?	Jane Doe	   当該ユーザーでログインすると各機能のセットアップが開始
こんにちは	± Office 2016 のイン	ストール	<u> さわています</u>
オンライン ドキュメントの検索	ρ ₹0%0	422K-14	
	・      ・     ・     ・     ・       ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・       ・      ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・      ・       ・        ・         ・        ・		
Si≊ Looo L∕≛ Sway PowerApps Flow	r Teams Dynamics 365 ストア		
まだいくつか設定を行っていますが、使い始めて	ら問題ありません。		



#### 1.8 VMware Identity Manager と Office 365 を統合

ここでは VMware Identity Manager と Office 365 を統合します。はじめに VMware Identity Manager で設定を追加し、その後 Office 365 を構成します。

前提となる設定	定の確認	
1.		VMware Identity Manager 管理者コンソールで[ ID とアク
🛟 Workspace C	CNNE <sup>™</sup> Tenant Admin - TTP	∞ セス管理 / 管理 / ディレクトリ ]を開き、構成済みの
ディレクトリ ID プロパイダ	クルーク カクロク ロビクスとなる パリシー 営垣 セットアッ	Active Directory ドメインを選択します。
< [ディレクトリ] に戻る		
wso.lan ドメイン タイプ:L コネクタ	n 今年今期 P: woolan Charles Directory 中国総定 DDAP 経由の Active Directory 21: acc.wao.lan 管 ディレクトリの制除	[ 同期設定 ]を選択します。
	数定 ID プロバイダ 同期ログ	
ディレクトリ名。	weo.lan ○ LDAP 経由の Active Directory ○ Active Directory (統合 Windows 認証)	
ごうしかし日の原語と毎年	E Artice Diserton から URAnese blanthe Mananer デノークトリハコーザーを回答すスコネクタを選びします	
2.		[ マップされた属性 ]を選択し、「objectGUID」行があるこ
	神殿菜 ビメノン フップネット 尾佐 ガルニブ ユーゼー オーフガード	とを確認します。
ディレクトリ列の属性は Activ 場合は、ドロップダウン メニ [セットアップ] > [ユーザー属性 VMware Identity Manager Ø	ive Directory 属性にマップされます。ディレクトリの属性が正しい Active Directory 属性にマップされない ニューから正しい属性を選択します。必須属性のリストを管理したり、リストにない属性を追加するには、 性」ページに移動します。 の属性名 Active Directory の属性名	、 (無い場合には、Workspace ONE PoC Guide Chapter 1 の手順の通りディレクトリを追加し直してください。)
userPrincipalName	userPrincipalName _ 必须	
userName	sAMAccountName • 必须	
lastName	sn · 必須	
firstName	givenName _ 必須	
email	mail 必須	
distinguishedName	distinguishedName · 必須	
disabled	userAccountControl •	
domain	canonicalName •	
employeeID	employeeID -	
objectGUID	objectGUID -	
phone	telephoneNumber -	
	キャンセル 保存と同期 保存	[ キャンセル ]を選択します。



#### VMware Identity Manager での設定

1.	VMware Identity Manager 管理者コンソールで[ カタログ
😂 Workspace ONE"	/ Web アプリケーション]を開きます。
ダッシュボード     ユーザーとグループ     カクログ     ID とアクセス管理     ロール       Web アプリケーション     Web アプリケーション     さらに >     設定       アプリケーション     タイプ       Salesforce     SAML 2.0 Web Application       H     4     ト	[新規] をクリックします。
2.	検索から[ Office 365 with Provisioning ]を選択します。
<ul> <li>新規 SaaS アブリケーション</li> <li>定義</li> <li>2 構成</li> <li>3 アクセスポリシー</li> <li>3 サマリ</li> <li>グfice 365 federated login that allows organi</li> <li>Office 365 federated login that allows organi</li> <li>P1 &gt;&gt; 0</li> </ul>	自動で残りの項目が入力されることを確認し、[次へ] をク リックします。
新規 SaaS アプリケーション ② 定意 ③ 用意 ③ アクセスボリシー ③ サマリ ⑦ ワマリ ⑦ ワマリ ⑦ ワマリ ⑦ ロボロ 55 febrard login that allows organizations to febrarae to Office 365 Pertal using Wheare Steretty Manager at attic 72 / 小を着の ⑦ Office 365 febrarde login that allows organizations to febrarae to Office 365 Pertal using Wheare Steretty Manager at attic 72 / 小を着配 ⑦ Trace 365 With Provisioning capability: 7 / コン ◎ ⑦ Office 365 With Provisioning Capability: 7 / → 2 / 小を着配 ⑦ Office 365 With Provisioning Capability: 7 / → 2 / 小を着配 ⑦ Office 365 With Provisioning Capability: 7 / → 2 / 小を着配 ⑦ Office 365 With Provisioning Capability: 7 / → 2 / 小を着配 ⑦ Office 365 With Provisioning Capability: 7 / → 2 / 小 を着配 ⑦ Office 365 With Provisioning Capability: 7 / → 2 / 小 を着配 ⑦ Office 365 With Provisioning Capability: 7 / → 2 / 小 を着配 ⑦ Office 365 With Provisioning Capability: 7 / → 2 / 小 を着配 ⑦ Office 365 With Provisioning Capability: 7 / → 2 / 小 を見ています。	













#### Office 365 の設定

1.	Windows PowerShell を起動し、以下のコマンドを実行し
Administrator Windows PowerShell     -      ×      Midoous SourceShell     Copyright (c) Microsoft Corporation. All rights reserved.	ます。
<pre>rs C:\Users\users\provider is required to continue Mudet provider is required to continue New=Pointient ender provider version '2.6.5.201' or newer to interest with Budet-based repositories. The Budet New=Pointient ender provider is required to the second second</pre>	Install-Module MSOnline
Whrmatter repository Tow are installing the modules from an untrusted repository. If you trust this repository, change its InstalletionBoiling value by running the Set-FSRepository cmilet. Are you sure you want to install the modules from POSALERY POSALERY POSALERY Control (1) No (1) No (1) No to All (5) Suspend (2) Help (default is "M" (1) PS (clubersluserM)) PS (clubersluserM)	2 回確認を求められるので、 どちらも [y] を入力します。
	(既に MSOnline をロード済みの PowerShell では不要な
	コマンドです。)
2.	以下のコマンドを実行します。
Microsoft Azure Active Directory Module for Windows PowerShell	\$UserCredential = Get-Credential
	認証画面が表示されたら Office 365 の管理者アカウントを
Enter your credentials.	入力し、[ OK ]を選択します。
Password:	以下のコマンドを実行します。
OK Cancel	Connect-MsolService –Credential \$UserCredential
Microsoft Azure Active Directory Module for Windows PowerShell  PS G:\Users\_NDesktop> \$UserGredential = Get-Gredential  cndlet Get-Gredential at connand pipeline position 1 Supply values for the following parameters: Gredential PS G:\Users\_NDesktop> Connect-HsolService -Gredential \$UserGredential PS G:\Users\_NDesktop> _	
3. PS G:\Usere\	以下のコマンドを実行します。
Name Status Authentication awjp.onnicrosoft.con Verified Managed jpwso.net Nesktop>_	Get-MsolDomain
	Office 365 セットアップ時に設定したドメインが表示され
	ることを確認します。









## 2 認証ポリシーの構成と試験

この章では、認証ポリシーを構成し、ブラウザ、Office アプリケーション、Workspace ONE アプリ ケーション、ActiveSync クライアントからのログインおよび認証制御をためします。

#### 2.1 認証ポリシーの構成

iOS 用にモバイル SSO と、それ以外のデバイス用にパスワード認証を構成し、ユーザーに割り当てます。

1.		VMware Identity Manager 管理者コンソールで[ ID とアクセ
🟮 Workspace ONE"	Tenant Admin ~ KAŢAGIRI	   ス / 管理 / ポリシー ]を開き、「 ポリシーを追加 ]を選択し
ダッシュポード ・ ユーザーとグループ カ	<b>クログ ・ ID とアクセス管理 ロール</b> Q. ユーザー、グループ、またはアプリケーションを検索	
ディレクトリ ID プロバイダ パスワード回復	アシスタント 認証方法 ポリシー 一 常見 セットアップ	ます。
ポリシーを追加 闘集 削	除 デフォルト ポリシーの編集 ネットワーク範囲	
ポリシー名	適用先 ルール	
Salesforce	1アプリケーション 2ルール	
2.		
新規アクセス ポリシ	_	
	アプリケーションへのアクセスに必要な基準を影容するルールが付いているアクセス ポリシーを	
1 定義	作成します。特定のアプリケーションに対するユーザー アクセスを管理するためにアプリケーション固有のアクセス ポリシーを作成できます。	[ ポリシー名 ] : Office 365(任意)と入力。
2 機成	* ポリシー名 🌒	「 適田生 】,「 Office 265 with Provisioning 】を深切
() 9 77	Office 365	[週用元]:[UIICE365 With Provisioning]を迭状。
	战明 ()	
		$[ \#     > - \  - \  ]$
	通用先	
	Q カタログからアプリケーションを選択	1 行目:
	名前 タイプ UUID	デバイフタイプ ・iOS
	Ø ① Office365 with Provi WSFed b30ec050-10a5-43fd-9f20-1352a72c	57612515:103
	Salesforce SAML 85c040cf-b389-41a0-9efe-c7ca64f99	認証方式 : モバイル SSO(iOS 版) & デバイスコンプラ
	キャンセル 次へ	イアンス
新規アクセス ポリシ	_	
		2 行目:
📀 定義	選択したアプリケーションへのアクセスに関するルールのリストを作成できます。ルールごとに、IP ネットワーク範囲、アプリケーションにアクセスできるデバイスのタイプ、認証方法、再認証までに ユーザーがマプリケーションは中国できる単大的部門を満知します	デバイスタイプ : すべてのデバイスタイプ
2 構成	ー ノ パノノノノ ノゴン 支圧 ひして 分成 人間 地気で おおし ひみ アロ	
<b>0</b> #70	ネットワーク範囲 デバイスタイプ 認証 再認証	認証万式: バスワード (クラウドテブロイ)
0 949	: ALL KANNESS IUS モバイル SSO (IOS 8 時間 ^ )	
	(4) シント・シールを発展	[次へ] をクリックし、不リシーを保存しよす。
	キャンセル 前へ 次へ	



3.	[カタログ] から [Office365 with Provisioning] を選択し、
🔯 Workspace ONE <sup>**</sup>	[割り当て] をクリックします。
ダッシュボード ▼ ユーザーとグルーフ カタログ ▼ ID とアクセス管理 ロール	
新規 編集 割り当て 削除 カテゴリ > さらに >	
アプリケーション タイプ カテゴリ	
Office365 with Provi WS-Fed Web Application	
Salesforce SAML 2.0 Web Application	
N 4 1 5 N	
4.	ユーザー/ユーザーグループを検索し、割り当てタイプに[自
割り当て ×	動 ]を選択し、[ 保存 ]をクリックします。
選択されたアプリ: Office365 with Provisioning	
ユーザー/ユーザー グループ	
Q、ユーザーまたはグループを検索	
道訳されたユーザー/ユーザー グループ 良間の種類	
盐 airG@jpwso.work 自動 🗸 🗙	
キャンセル 保存	





## 2.2 PC 上のブラウザからのログイン













#### 2.3 iOS デバイスからのモバイル SSO ログイン

1		AirWatch 答理コンンレールを開き、Warkenses ONE Dec ギノ
		Alf Watch 管理コンソールを用き、Workspace ONE POC ガイ
	8	ド Chapter1 「iOS デバイス用モバイル SSO の構成」の章で
画 CalDAV	- アブリケーション	   構成したモバイル SSO 用デバイスプロファイルを編集しま
团 CardDAV	このログインの使用を許可されたアプリ識別子の一覧。この項目がない場合は、このログ	
※ Web クリップ ■ 資格情報	インはすべてのアプリ識別子に適用します。 アプリケーションバンドIllin	ज.
↔ SCEP 1	com.microsoft.Office.Outlook	
◎ グローバルHTTPプロキ シ	com.air-watch.appcenter	
シングルアプリモード     マーン・レック     マーン・レック     マーン・レック     マーン・レック     マーン     マー     マーン     マー     マー     マー	com.salesforce.chatter	
<ul> <li>○ コンテンラフィルタ</li> <li>◎ 管理ドメイン</li> </ul>	com.microsoft.Office.Powerpoint	Outlook (com.microsoft.Office.Outlook )
● ネットワーク使用量規 則	com.microsoft.skydrive	PowerPoint (com microsoft Office Powerpoint )
⑦ macOS サーバアカウン ト	com.microsoft.Office.Excel	rowerround (com.microsoft.onice.rowerpoint)
🖻 シングル サインオン	com.apple.mobilesafari	Word (com.microsoft.Office.Word )
I AirPlay ミラリング 름 AirPrint	0.026	Exel (com.microsoft.Office.Exel )
☆ セルラー ● ホーム画面レイアウト		OneDrive (com.microsoft.skydrive )
	パージョン追加 保存して公開 キャンセル	   などのアプリケーションバンドル ID を追加する。
		  保存して公開]を選択します。
2.		モバイル SSO が使用可能な iOS デバイスで Workspace
		   ONE アプリケーションを起動します。
	Workspace	
	workspace	
3.		[ カタログ ]から[ Office 365 Provisioning ]を開きます。
••••• *	9:41 7 8 1000	
	עידיד Q	
	7797-9 <b>h907</b> Ξ	
G	oogle Apps Microsoft Excel Microsoft OneDri Microsoft	
v	Yeb サイト ve-ファイルと Outlook - email	
	NK □ インストール インストール インストール	
	Microsoft Ward Microsoft リモー Office365 with	
P	towerPoint トデスクトップ Provisioning Web サイト	
4	シストール インストール 開く 口	













#### 2.4 アクティブ認証フローの制御

ここまでの認証制御の仕組みはパッシブ認証フローフロー(SaaS 等へのアクセス時に SAML IdP にリ ダイレクトされる認証フロー)を使用した SAML 認証を前提にしてきました。

ここでは、以前のバージョンの Outlook や iOS メールアプリケーションなどのパッシブ認証に対応して いないアプリケーション向けにアクティブ認証フロー(ユーザーID とパスワードをポストする認証フロ ー)を制御するアクセスポリシーを構成します。

#### 2.4.1 VMware Boxer アプリケーションのみを許可

アクティブ認証フローを使用してアクセスできるアプリケーションを VMware Boxer のみに制限するポリシーを構成します。

1.	VMware Identity Manager 管理者コンソールで [ カタログ ]か
🚺 Workspace ONE <sup>™</sup>	ら[ Office365 with Provisioning ]を選択します。
ダッシュボード × ユーザーとグルーフ カタログ × ID とアクセス管理 ロール 新規 編集 割り当て 削除 カテゴリ × さらに ×	[編集] をクリックします。
<ul> <li>■ アプリケーション タイプ カテゴリ</li> <li>● Office365 with Provi WS-Fed Web Application</li> <li>■ Salesforce SAML 2.0 Web Application</li> <li>■ A Salesforce SAML 2.0 Web Application</li> </ul>	[ ユーザー名/パスワードクライアントのクライアントアクセス ポリシー ]のポリシー追加ボタン(+)を選択します。
SeeS アプリケーションの編集     Pott スポリシーは、アブリケーションにアクセスするために黒たする炭のある基準を整定しま     To たでの物ののフリケーションへのユーゲーアクセスを管理するには、アクセスポリシー     Rul     Pott スポリシー     To	VMware Identity Manager 管理者コンソールで [ カタログ ]か ら[ Office365 with Provisioning ]を選択します。 [編集] をクリックします。 [ ユーザー名/パスワードクライアントのクライアントアクセス ポリシー ]のポリシー追加ボタン(+)を選択します。
3. (低低 クライアントアクセスポリシーの追加 ・ ユーザークライアントが改ゆ曲 MWHICH BOOM ・ ユーザーのキットワーク戦闘が改ゆ曲 MHICH BOOM ・ エーザーのギットワーク戦闘が改ゆ曲 MHICH BOOM ・ エーザーのギットワーク戦闘が改ゆ曲 MHICH BOOM ・ エーザーのギットワーク戦闘が改ゆ曲 MHICH BOOM ・ エーザーのボットワーク戦闘が改ゆ曲 MHICH BOOM ・ エーザーが次のゲループに属する曲 Qゲルーグを選択. パープが展示されていない場合、ルールはすべてのユーゲーに満用され まで、 ・ また、クライアントのE メール プロトコルが改ゆ通音 ディてのプロトコル ・ ・ このアクションを実行します アクセスキャ町 -	以下の2つのポリシーを追加します。 1つ目:ユーザークライアントが次の場合: AirWatch Boxer ユーザーのネットワーク範囲が次の場合: ALL RANGES ユーザーのデバイスタイプが次の場合: いずれか クライアントのEメールプロトコルが次の場合: すべてのプロトコル このアクションを実行します: アクセスを許可
*+>t&	ユーザーのネットワーク範囲が次の場合: 97(CO)アウラウークヨン ユーザーのネットワーク範囲が次の場合: ALL RANGES ユーザーのデバイスタイプが次の場合: いずれか クライアントの E メールプロトコルが次の場合: すべてのプロトコル このアクションを実行します: アクセスを拒否



< 構成	クライアン	・ト アクセス ポリシー	の追加		
* ユーザー	クライアントが次の場合	すべてのアプリケーション			[次へ] をクリックし、ポリシーを保存します。
* ユーザーのネッ	トワーク範囲が次の場合	ALL RANGES		- 0	
* また、ユーザーのデ	バイス タイプが次の場合	いずれか		v O	
また、ユーザーが次	マのグループに属する場合	Q グループを選択		0	
		グループが選択されていない ます。	場合、ルールはすべてのユーザ	ーに適用され	ます。
* また、クライアントの E メー	ル プロトコルが次の場合	すべてのプロトコル			
* この	)アクションを実行します	アクセスを拒否			
SaaS アプリケーシ ② 2歳	ヨンの編集 Office 365 ユーザー名// シー	ペスワード クライアン	* vhodjtryh 7	ャンセル 保存 ウセス ポリ	
<ul> <li>アクセスボリシー</li> </ul>	Office 365 クライ: ト)がユーザー名。 クセス ポリシーを します。	アント(VMware Boxer、iOS。 こパスワードによる認証を使用 使用してアクセスを制御しま1	および Android ネイティブ E する場合、Identity Manager i す。以下のクライアント アクセ	: メールクライアン はクライアント ア マス ポリシーを設定	
<ul> <li>サマリ</li> <li>▲ ポリシ へのコ</li> </ul>		はすべての Office 365 アプリド デー アクセスに影響します。	こ適用されます。編集すると、	これらのアプリ	
	クライアント	ネットワーク範囲	デバイス グループ	アクション	
	: AirWatch Bo	er ALL RANGES	いずれか すべての	許可×	
	: すべてのアフ	ALL RANGES	いずれか すべての	拒否	
	⊕ ポリシール	ールを追加			
	Luciana				
			العليه ويرتبع		
			47920	ad. x	





#### 2.4.2 すべてのアプリケーションを許可

アクティブ認証フローを使用できるクライアントを VMware Boxer のみに制限していまたしたが、それ を解除し全てのクライアントが使用可能な環境に戻します。





# 3 [ APPENDIX ] VMware Identity Manager によるアカウン

# トプロビジョニング

本書では Azure AD Connect を使用して Active Directory 上のユーザをプロビジョニングしてきましたが、VMware Identity Manager 自体でも Office 365 にアカウントをプロビジョニングすることができます。

ここでは Azure AD Connect を使用しない環境でアカウントをプロビジョニングする方法を説明します。

\* 本章の手順 5 で資格を付与されたユーザーは全て Office 365 にアカウントプロビジョニングされます。既に資格を付与済みのユーザ ーがいる場合には一旦解除してから実施してください。

1. PS C:\Users\New-MsolServicePrincipal -DisplayName Vidm ype password -Value DisplayName : VidmPrinc2 ServicePrincipalNames : (d0f3086d	Windows PowerShell を使用して Office 365 にアカウント プロビジョニングができる管理アカウントを追加します。 以下のコマンドを実行し、管理アカウントを作成します。 New-MsolServicePrincipal -DisplayName <任意のアカウント名> -Type password -Value <強固なパスワード> 以下のコマンドを実行し、作成した管理アカウントにロール
PS C:\Users\NDesktop> Add-MsolRoleMember -RoleMemberTupe Service -RoleName 'User Account Administrator' -RoleMemberObjectld 6f310706- 	Principal を追加します。 Add-MsolRoleMember - RoleMemberType ServicePrincipal - RoleName 'User Account Administrator' - RoleMemberObjectId <アカウント作成時のコマンド の[ ObjectID ]行の値>
2.	VMware Identity Manager 管理者コンソールで [ カタロ
🛟 Workspace ONE*	グ ]から[ Office365 with Provisioning ]を選択し、[編集]
ダッシュボード マ ユーザーとグループ カタログ - ID とアクセス管理 ロール	をクリックします。
新規 編集 割り当て 削除 カテゴリ ∨ さらに ∨ つ アプリケーション タイプ カテゴ ○ プブリケーション タイプ カテゴ ○ Office365 with Provi WS-Fed Web Application ○ Salesforce SAML 2.0 Web Application ○ 4 1 ▶ ▶	[構成]タブを開き、[プロビジョニングのセットアップ] の項 目を [はい] に設定します。 [プロビジョニング]タブをクリックします。
SaaS アプリケーションの編集	
○ 定義 其一ゼー名の値 ◎ 转(user.userName)	
会前<	
C プロビジョニング Issuer Office 365 Issuer L katagitismwarei	

**M**ware<sup>®</sup>







		[グループ名] からプロビジョニングするグループを選択し、
< グループプロピジョニング プロピジョニ	ングするグループを追加	[ニックネーム] は任意の名前を設定します。
・ グループ名 Q. 0365G@jpwso.work		
* ニックネーム Office 365 Group		* ここで資格を付与されたグループ内のユーザーは全て
		Office 365 にアカウントプロビジョーングされます
		   [次へ] をクリックし、ポリシーを保存します。
	キャンセル 別作	
SaaS アプリケーションの編集		
グループプロビジョニ	ニング	
グループ プロピジョニングを実行 の 用は ヨニングしても、グループのメン	行すると、対応するセキュリティ グループが Office 365 に作成されます。注: グループをプロビジ バーにアプリケーションの資格は付ちされません。 Office 365 の資格をグループのメンバーに付	
与するには、(割り当て)ページに	アクセスして、グループを追加してください。	
ダアクセスポリシー グループ名 0365G@jpwso.work	グループをメールのニックネーム ステータス Office 365 Group プロピジョニング単儀売了	
<ul> <li>プロビジョニング</li> <li>① グループを追加</li> </ul>		
クロビジョニング         プロビジョニング		
Ø Ø M- Ø D U S S Ø		
1		
S 250		
	キャンセル 前へ 次へ	
		[カタログ] から [ Office365 with Provisioning ] を開きま
		す。
ダッシュボード マ ユーザーとグループ カタログ	ID とアクセス管理 ロール	
新規 編集 割り当て 削除	カテゴリ 🗸 さらに 🗸 設定	クルーノノロビジョニングの「ステーダス」列を確認し、「ノ
アプリケーション	タイプ	ロビジョニンク済み」となることを確認します。
Office365 with Provisioning	WS.Eed Web Application	
Concesso marriersoning	WSPEd Web Application	
Salesforce	SAML 2.0 Web Application	
H H 1 H H		
福島 割り当て 制限 コピー エクスポート		
Office 365 FX 4 2	23-722-F10	
クライアント シークレット	9<9×30×45700093000000000000000000000000000000000	
	いいえ、 プロビジュニングを解除するときにライナンスを削除	
	146.8	
プロピジュニングを特徴にする はい		
ユーザー プロビジョニング		
属性毛 表示名	(# Fjuser/userName)	
User Principal Name	\${user/yincipalName}	
GRD # # - 8.05 - 4.7 B - 1.	Ruser.objectGU0) \$0.ser.objectGU0	
2 ··· ································		
グループプロピジョング グループネージョーング	7-47	
プループプロピジョニング           プループを           プループを           ON0000press.work           OBits MS Group	ネーム ステータス プロピジョニングあみ	





**m**ware<sup>®</sup>

13.			「Product Licenses」行にライセンスが表示されたことを確
		_	認し、[ Close ]を選択します。
Jane Doe Jane.Doe@jpwso.ne	et		
	rd Delete user		
Change Keset password			
User name	Jane.Doe@jpwso.net	Edit	
Group memberchips (1)		Edit	
Sion-in status	Sign-in allowed	Edit	
Office installs	View and manage which devices this person has	Edit	
	Office apps installed on.	Luic	
Roles	User (no admin access)	Edit	
Display name Office phone	Jane Doe	Edit	
Mail Cattings			
Mail Settings			
More settings	Edit Skype for Business properties Manage multi-factor authentication 😅		
Close			
	₩ <b>\$</b> \$?	Jane Doe	当該ユーザーでログインすると各機能のセットアップが開始
こんにちは	<b>↓</b> Office 2016 の-	インストール	されています
オンライン ドキュメントの検索	وي الم	きのインストール	
セットアップし セットアップし ています_ ています_ ています_	トロシートアップし ます         レーシーアップし セットアップし ています         レーシーアップし セットアップし ています         レーシー ロットアップし ています         レーシー ロットアップし ています         レーシー ロットアップし ています         レーシー ロットアップし ています		
ビットアップレ セットアップレ ています	Image: Symplex to the symple	マレ	
	D 🚺 🕨 🗴		
sway PowerApps Fio	www.insamis Uynamics365 ストン		



## 4 [ APPENDIX ] 参考情報

#### 4.1 製品ドキュメント

VMware Identity Manager 製品ドキュメント http://www.vmware.com/jp/support/support-resources/pubs/identitymanager-pubs.html

VMware Identity Manager Integration Documentation (各種 SaaS とのインテグレーションガイド) https://www.vmware.com/support/pubs/vidm\_webapp\_sso.html

VMware Identity Manager Integration with Office 365 https://www.vmware.com/pdf/vidm-office365-saml.pdf

AirWatch 製品ドキュメント https://resources.air-watch.com

#### 4.2 各種ガイド

Reviewer's guide for cloud-based VMware Workspace ONE http://www.vmware.com/content/dam/digitalmarketing/vmware/en/pdf/techpaper/vmware-workspace-one-airwatchidentity-manager-reviewers-guide.pdf

#### Workspace ONE PoC Guide

https://resources.air-watch.com/view/t5b49gbkrvglm8jmq565/en

#### AirWatch フリートライアルガイド スタート編

https://www.slideshare.net/HamamatsuMobile/vmware-airwatch-fee-trial-guide-jp-chapter-1-v20-73517273

#### AirWatch フリートライアルガイド ゲートウェイ連携編

https://www.slideshare.net/HamamatsuMobile/vmware-airwatch-fee-trial-guide-jp-chapter-2-v21-73517348

#### 4.3 その他

浜松町モバイル愛好会 SlideShare https://www.slideshare.net/HamamatsuMobile/presentations

浜松町モバイル愛好会 YouTube (各種デモ動画) https://www.youtube.com/channel/UCVMfQCwJaNRl1tWyw8EZTTQ